



Sitecore CMS 6.2

WebDAV の構成

Sitecore の管理者と開発者のための WebDAV の実装と構成

目次

Chapter 1	イントロダクション	4
Chapter 2	WebDAV の概要	5
2.1	WebDAV の機能.....	6
2.2	WebDAV の構造.....	7
2.2.1	WebDAV のリクエスト	7
2.2.2	WebDAV のモード.....	7
2.2.3	WebDAV オプションオブジェクト	7
2.2.4	WebDAV のビュー	8
2.2.5	WebDAV リクエスト ハンドラー	8
2.2.6	WebDAV FDA データ テンプレート フィールド タイプ	8
2.2.7	WebDAV カスタムプロパティ.....	8
2.2.8	IT Hit WebDAV エンジン	9
Chapter 3	Sitecore の WebDAV の構成.....	10
3.1	IIS の WebDAV サポートを構成する	11
3.1.1	統合 Windows 認証を無効にする.....	11
	IIS6 以前 (Windows XP または Windows 2003) での統合 Windows 認証の設定方法	11
	IIS7 以降 (Windows Vista、Windows 2008、Windows 7) での統合 Windows 認証の設定方法....	12
3.1.2	ASP.NET を使用して WebDAV リクエストを処理するように IIS を構成 する	13
	IIS5 (Windows XP)	13
	IIS6 (Windows 2003).....	18
	IIS7 (Windows Vista、Windows 2008、Windows 7).....	22
3.2	WebDAV 構成設定	23
3.2.1	WebDAV.AssociateUsernameWithLink 設定	23
3.2.2	WebDAV.Enabled 設定	23
3.2.3	WebDAV.EngineLogLevel 設定	24
3.2.4	WebDAV.FileDropAreaMediaLocation 設定	24
3.2.5	WebDAV.Folder 設定	24
3.2.6	WebDAV.LicenseFile 設定	24
3.2.7	WebDAV.MediaHandlerName 設定	25
3.2.8	WebDAV.PromptWhenUsernameUnknown 設定	25
3.2.9	WebDAV.URLDisplayName 設定.....	25
3.3	WebDAV 構成要素	26
3.3.1	WebDAV 認証を構成する.....	26
	WebDAV 認証方法	26
3.3.2	WebDAV ビューを構成する	27
3.3.3	WebDAV 追加ロックプロバイダーを構成する.....	27
3.3.4	WebDAV Null ロックプロバイダーを構成する.....	28
3.3.5	WebDAV オプション ストアを構成する.....	28

3.4	WebDAV パイプライン	29
3.4.1	autogenerateVersions パイプライン	29
3.4.2	getProperties パイプライン	29
3.4.3	requireAuthentication パイプライン	29
3.4.4	resolveDatabase パイプライン	29
3.4.5	resolveMode パイプライン	30
3.4.6	resolveRootItem パイプライン	30
3.4.7	resolveSite パイプライン	30
3.4.8	resolveUser パイプライン	30
3.4.9	resolveView パイプライン	30
3.4.10	updateProperties パイプライン	31
3.4.11	validateOperation パイプライン	31
Chapter 4	既知の問題とトラブルシューティング	32
4.1	既知の問題	33
4.2	WebDAV のトラブルシューティング	35
4.2.1	WebDAV ログ	35
4.2.2	WebDAV クライアントの構成	35
4.2.3	Running a System Command on this Item Might Be Unsafe	35
4.2.4	Internet Explorer Could Not Open	36
4.2.5	Cannot Find	36

Chapter 1

イントロダクション

この文書は Sitecore の WebDAV (Web-based Distributed Authoring and Versioning) の実装に関する技術的な概要と構成の詳細について解説します。¹ CMS の管理者、設計者、開発者は Sitecore のソリューションでの WebDAV 機能の実装に先立ってこの文書を読読んでください。

この文書はまず WebDAV の機能とその構造の概要を説明し、次に Sitecore の WebDAV 機能の構成の仕方を解説し、最後に Sitecore の WebDAV 機能に関する制限事項、既知の問題、トラブルシューティングについて説明します。

この文書には次の章があります:

- Chapter 1 — イントロダクション
- Chapter 2 — WebDAV の概要
- Chapter 3 — Sitecore の WebDAV の構成
- Chapter 4 — 既知の問題とトラブルシューティング

¹ WebDAV に関するさらに詳細な情報は <http://www.webdav.org> を参照してください。Sitecore の WebDAV 機能に関するさらに詳細な情報は SDN から『コンテンツ オーサー リファレンス & クックブック』
<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Content%20Author%27s%20Cookbook.aspx> を参照してください。

Chapter 2

WebDAV の概要

この章では WebDAV の機能とその構造の概要を説明します。

この章には次のセクションがあります:

- WebDAV の機能
- WebDAV の構造

2.1 WebDAV の機能

WebDAV を使うことによってブラウザなどの Web クライアントのユーザーは HTTP や HTTPS などの Web プロトコルを使って Web サーバー上のファイルを管理することができます。WebDAV を使うことによってユーザーは Windows のデスクトップとブラウザの間でファイルのドラッグ アンド ドロップができます。

注意

Microsoft Internet Explorer 8 はホスト名 `localhost` にアクセスする場合には WebDAV をサポートしません。この問題に関するさらに詳細な情報は「Cannot Find」セクションを参照してください。

注意

Sitecore の WebDAV の実装には IT Hit WebDAV を使用しています。マイクロソフトの提供している IIS7 の WebDAV コンポーネントと IIS7.5 の WebDAV 発行機能は Sitecore の WebDAV の実装と接続することができます。IT Hit WebDAV エンジンに関するさらに詳細な情報については「IT Hit WebDAV エンジン」セクションを参照してください。

重要

Sitecore は Internet Explorer が直接サポートしていない WebDAV 機能をサポートしません。たとえばカスタム WebDAV プロパティやドライブ文字を WebDAV リソースに割り当てることなどです。

メモ

WebDAV クライアントの構成に関するさらに詳細な情報については「WebDAV クライアントの構成」セクションを参照してください。

メモ

IIS 管理コンソールにアクセスするにはまず Windows のデスクトップで Windows ボタンをクリックします。Windows のスタートメニューが表示されます。Windows のスタートメニューにテキストボックスがない場合には「ファイル名を指定して実行」(Run) を選択します。Inetmgr と入力して [Enter] キーを押します。

メモ

WebDAV 機能にアクセスする際に Internet Explorer がパスワードを要求したら、Sitecore のユーザー名 (ドメイン名を含む) を `sitecore\username` の形で入力し、パスワードを入力します。ユーザー名とパスワードでは大文字と小文字は区別されます。

2.2 WebDAV の構造

このセクションでは WebDAV の構造に関する情報と Sitecore の WebDAV の実装について説明します。

2.2.1 WebDAV のリクエスト

WebDAV の対話は Web クライアントと Web サーバー間で行われる一連の HTTP (または HTTPS) リクエストと応答 (WebDAV リクエスト) です。Web クライアントの WebDAV 対応コンポーネントのユーザー アクションが Web クライアントから Web サーバーへの WebDAV リクエストのトリガーとなります。Web サーバーは 1 つまたは複数のファイルまたはディレクトリに操作を行って WebDAV リクエストに応答し、Web クライアントに情報を返します。たとえば、ユーザーが WebDAV をサポートするブラウザ ウィンドウにファイルをドラッグしたとき、Web クライアントはそのファイルの情報をファイルのコンテンツを含め Web サーバーに送信します。Web サーバーはファイルの写しを保存し、現行のディレクトリとそのコンテンツに関する情報を Web クライアントに返します。

2.2.2 WebDAV のモード

WebDAV は読み取り専用または読み書き可能モードで動作します。デフォルトは読み書き可能モードです。

ヒント

`resolveMode` パイプラインを操作し `Sitecore.Configuration.WebDAVOptions.ReadOnlyMode` プロパティをセットすることによって WebDAV モードを上書きすることができます。² `resolveMode` パイプラインに関するさらに詳細な情報は `resolveMode` パイプライン」セクションを参照してください。

2.2.3 WebDAV オプションオブジェクト

Sitecore は各 WebDAV リクエストへの処理コンテキストを決定します。パフォーマンスを最適化するため、Sitecore はサーバーの WebDAV オプション オブジェクトの異なる処理コンテキストに関する情報を保存しますが、必要になるまでこれらのオブジェクトのプロパティのデータは投入されません。WebDAV リクエスト URL は WebDAV オプション オブジェクトにリンクする GUID を含みます。WebDAV オプション オブジェクトのサーバー サイドストレージに関するさらに詳細な情報は「WebDAV オプション ストアを構成する」セクションを参照してください。

WebDAV オプション オブジェクトは次のような情報タイプを含むことができます:

- コンテキスト サイト
- データベース
- メディア アイテム
- WebDAV モード (読み取り専用または読み書き可能)

² Sitecore API に関するさらに詳細な情報は、API 関連のドキュメント

<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese.aspx> を参照してください。

メモ

Sitecore は複数のユーザーからのリクエストに同じ WebDAV オプション オブジェクトを使うことができます。オブジェクトとデータベースの対話数を最小化しパフォーマンスを最適化するために WebDAV オプション オブジェクトは HTTP リクエストの間も生き続け、作成後は読み取り専用です。

2.2.4 WebDAV のビュー

WebDAV のビューは WebDAV レポジトリへのもう 1 つのユーザー インターフェースを提供します。

Sitecore には 2 つのデフォルトのビューがあります。シンプル ビューはメディア フォルダーとメディア フォルダーまたはメディア ライブラリのルートにあるメディア アイテムに関する情報を提供します。詳細ビューはバージョン管理をサポートする各メディア アイテムをフォルダーとしてリストします。フォルダーには各言語のフォルダーが含まれ、各フォルダーにはその言語の 0 またはいくつかのバージョンを含んでいます。

メモ

Sitecore のユーザー インターフェースではシンプル ビューは「ファイルの最新のバージョンのみを表示する」(**Show only latest version of files**) の時に表示され、詳細ビューは「ファイルのバージョンをフォルダーで表示する」(**Show versioned files in folders**) で表示されます。

メモ

「WebDAV ビューを構成する」セクションにあるように、追加のビューを登録することもできます。

2.2.5 WebDAV リクエスト ハンドラー

Sitecore は WebDAV リクエスト ハンドラーを使って WebDAV リクエストを処理します。WebDAV リクエストハンドラーに関するさらに詳細な情報は「WebDAV.MediaHandlerName 設定」のセクションを参照してください。

2.2.6 WebDAV FDA データ テンプレート フィールド タイプ

ファイル ドロップ エリア (FDA) データ テンプレート フィールド タイプを使うとユーザーは WebDAV を使ってアイテムに関連付けられたメディア アイテムを管理することができます。³ 各 FDA フィールド値はフィールドにドラッグされたメディア アイテムを含むメディア ライブラリのユニークなフォルダーにリンクします。

2.2.7 WebDAV カスタム プロパティ

WebDAV を使うとユーザーはカスタム プロパティを WebDAV レポジトリに保存されたファイルと関連付けることができます。

³ ファイル ドロップ エリア (FDA) データ テンプレート フィールド タイプに関するさらに詳細な情報は『データ定義リファレンス』

<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Data%20Definition%20Reference.aspx> を参照してください。

メモ

Sitecore のサポートする Microsoft Internet Explorer WebDAV クライアントは WebDAV カスタム プロパティをサポートしません。

2.2.8 IT Hit WebDAV エンジン

Sitecore は IT Hit WebDAV エンジン⁴ を使用しています。

⁴ IT Hit WebDAV に関するさらに詳細な情報は <http://ithit.com/> を参照してください。IT Hit WebDAV エンジンに関するさらに詳細な情報は <http://www.webdavsystem.com/server/> を参照してください。

Chapter 3

Sitecore の WebDAV の構成

この章では Sitecore WebDAV の構成を解説します。まず IIS の WebDAV サポートの構成について説明し、次に WebDAV パイプラインを含む WebDAV 構成要素について説明します。

この章には次のセクションがあります:

- IIS の WebDAV サポートを構成する
- WebDAV 構成設定
- WebDAV 構成要素
- WebDAV パイプライン

3.1 IIS の WebDAV サポートを構成する

Sitecore のインストールに setup 実行モジュールを使っていない場合にはこのセクションの説明に従って IIS の WebDAV サポートを構成します。

メモ

Sitecore の setup 実行モジュールは自動的に IIS の WebDAV サポートを構成します。

メモ

コンテンツ管理とコンテンツ デリバリーに別の Sitecore のインスタンスを使っている場合で、コンテンツ デリバリー環境では WebDAV を使わない場合には、コンテンツ デリバリー環境で WebDAV サポートを構成する必要はありません。

3.1.1 統合 Windows 認証を無効にする

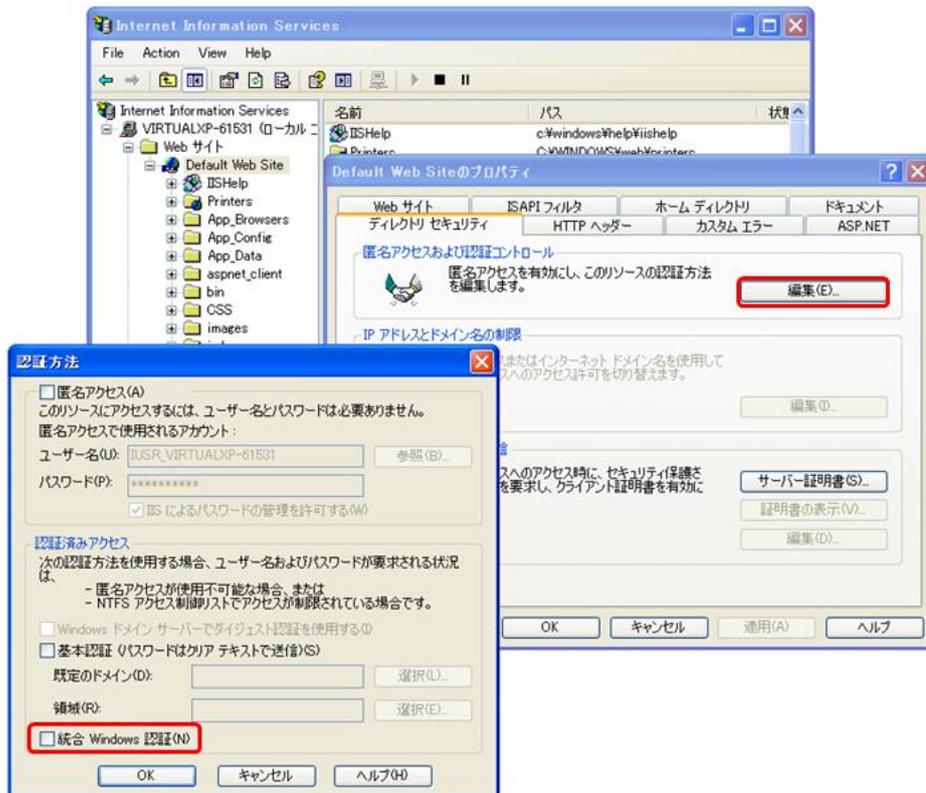
統合 Windows 認証を無効にすることを確認します。

IIS6 以前 (Windows XP または Windows 2003) での統合 Windows 認証の設定方法

IIS6 以前で統合 Windows 認証を無効にする手順:

1. IIS 管理コンソールで Web サイトを右クリックし、**[プロパティ]** をクリックします。**[プロパティ]** ダイアログが表示されます。
2. **[プロパティ]** ダイアログで **[ディレクトリ セキュリティ]** タブをクリックし、**[匿名アクセスおよび認証コントロール]** で **[編集]** をクリックします。**[認証方法]** ダイアログが表示されます。

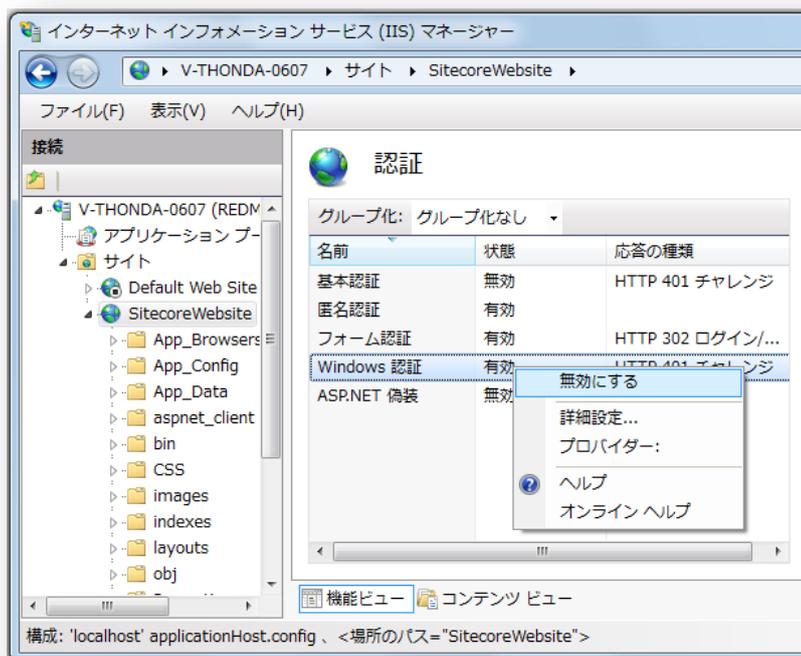
3. **[認証方法]** ダイアログで **[統合 Windows 認証]** のチェック ボックスをオフにし、**[OK]** をクリックします。



IIS7 以降 (Windows Vista、Windows 2008、Windows 7) での統合 Windows 認証の設定方法

IIS7 以降で統合 Windows 認証を無効にする手順:

1. IIS マネージャーで Web サイトを選択し、**[認証]** をダブルクリックします。
2. **[Windows 認証]** で、**[無効にする]** を選択します。



3.1.2 ASP.NET を使用して WebDAV リクエストを処理するように IIS を構成する

IIS が ASP.NET を使用して WebDAV リクエストを処理するように、環境に応じて下記の手順に従います。

メモ

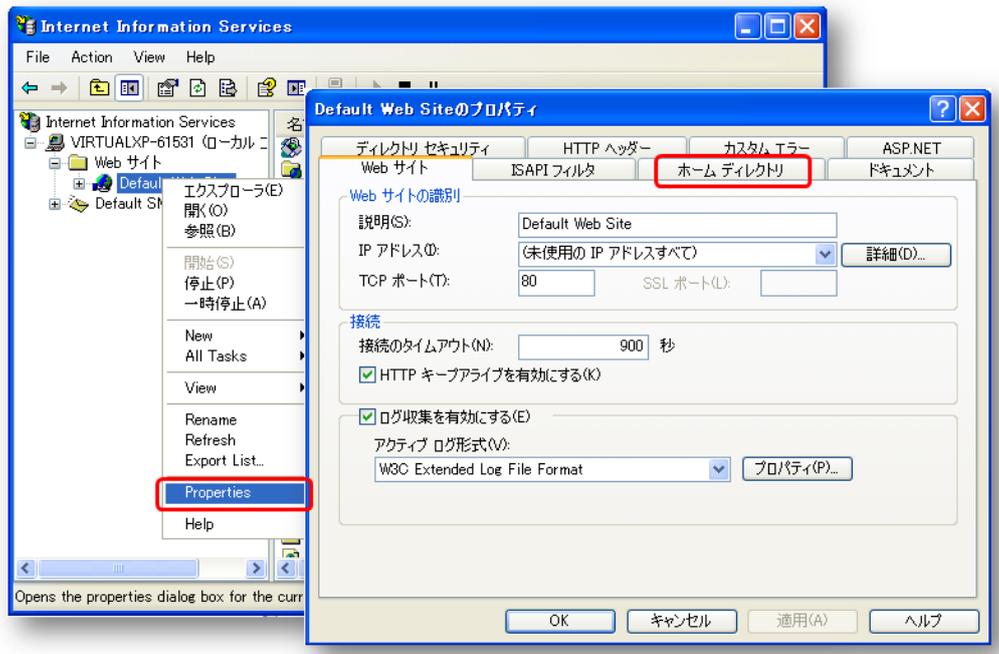
場合によっては処理オーバーヘッドを最小化するために IIS Web サイトのドキュメントルートと WebDAV.Folder 設定で指定されたサブディレクトリには異なる構成が適用されます。WebDAV.Folder 設定に関するさらに詳細な情報は「WebDAV.Folder 設定」のセクションを参照してください。

下記の説明では WebDAV.Folder 設定のデフォルト値 (/sitecore_files) をリストしています。

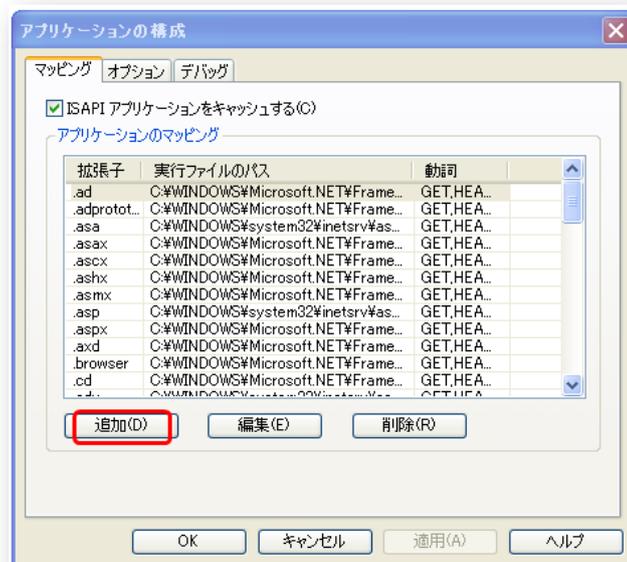
IIS5 (Windows XP)

IIS5 の Web サイトのドキュメントルートを構成して Sitecore の WebDAV 機能をサポートする手順:

1. IIS 管理コンソールで Web サイトを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[プロパティ] ダイアログが表示されます。



2. [プロパティ] ダイアログで [ホーム ディレクトリ] タブをクリックし、[構成] をクリックします。[アプリケーションの構成] ダイアログが表示されます。



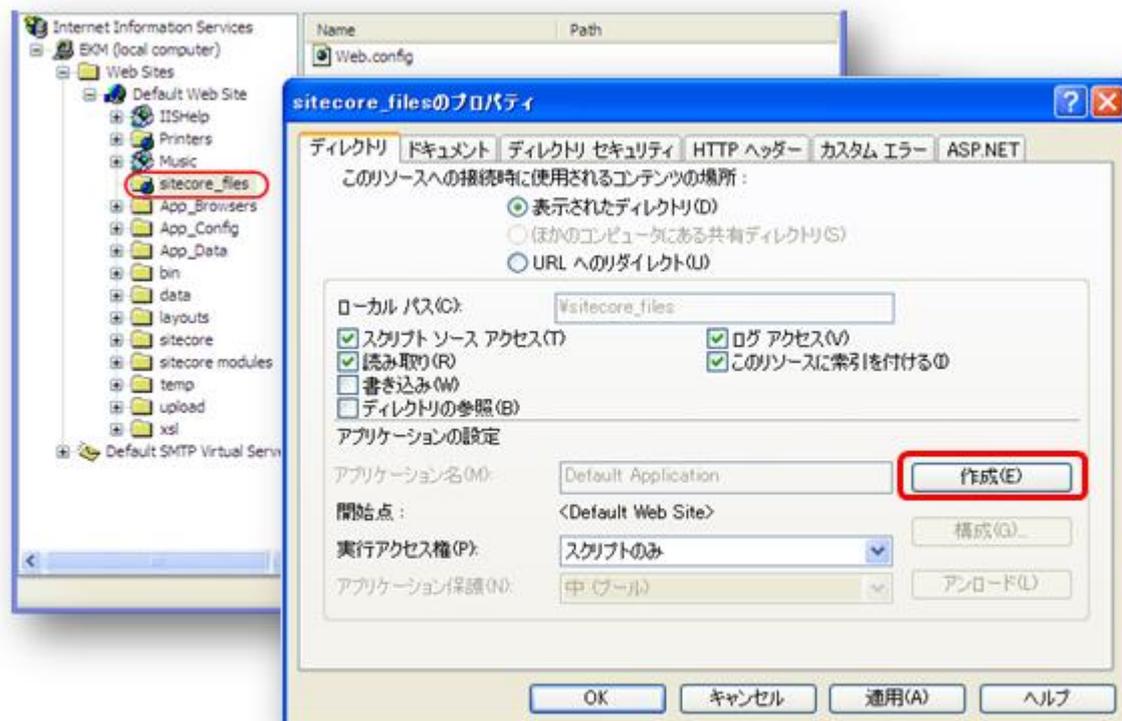
3. [アプリケーションの構成] ダイアログで .aspx を選択し、[編集] をクリックします。[アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログが表示されます。
4. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで [実行ファイル] の値を Windows キーボードにコピーし、[OK] を押します。
5. [アプリケーションの構成] ダイアログで [追加] をクリックします。[アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログが表示されます。

6. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで、[実行ファイル] のフィールドで Windows クリップボードの値を貼り付けます。
7. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで、[拡張子] にアスタリスク (“*”) を入力します。
8. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで、[制限] を選択し、PROPFIND,OPTIONS と入力します。
9. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで、[ファイルの存在を確認する] のチェックボックスをオフにし、[OK] をクリックします。



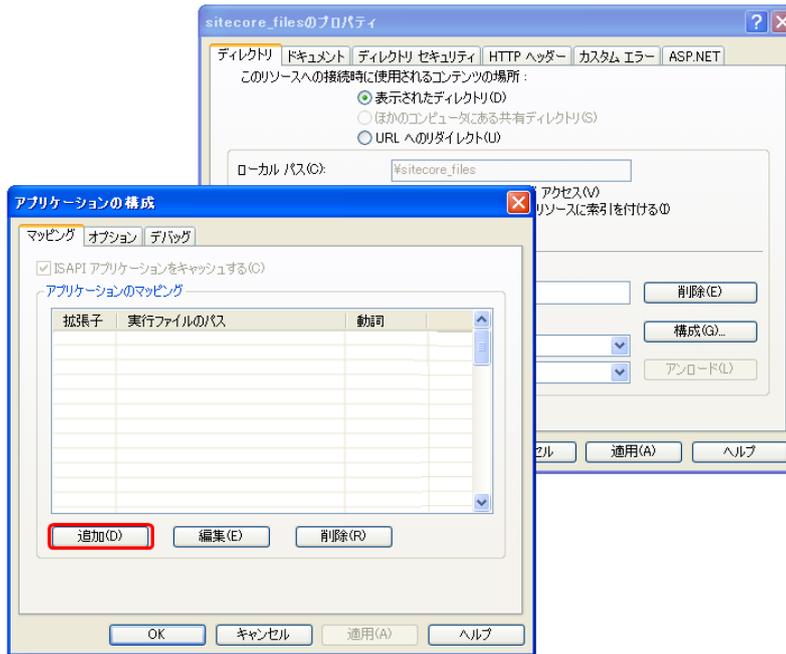
IIS5 の Web サイトの WebDAV サブディレクトリを構成して Sitecore の WebDAV 機能をサポートする手順:

1. IIS 管理コンソールで Web サイトを展開して /sitecore_files を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
[プロパティ] ダイアログが表示されます。
2. [プロパティ] ダイアログで [ディレクトリ] タブをクリックし、[作成] をクリックします。

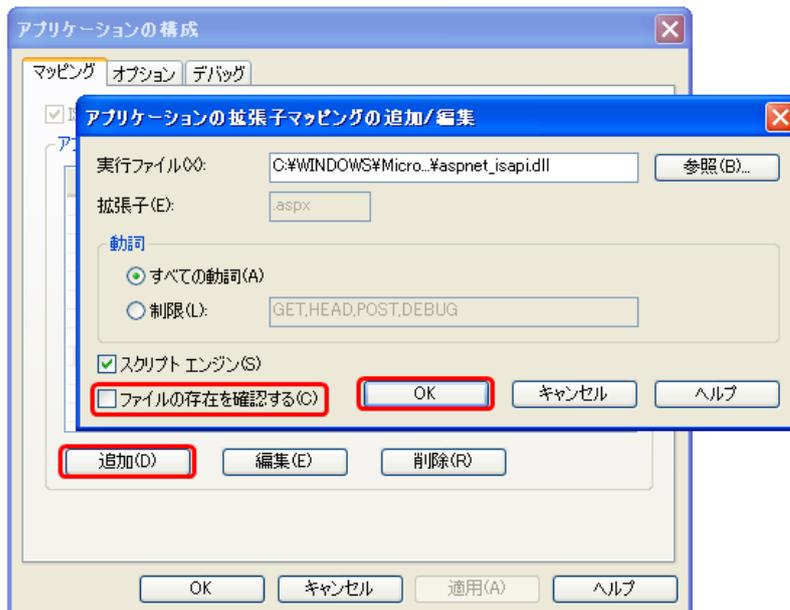


[プロパティ] ダイアログが最新の状態に更新され、新しいアプリケーションが示されます。

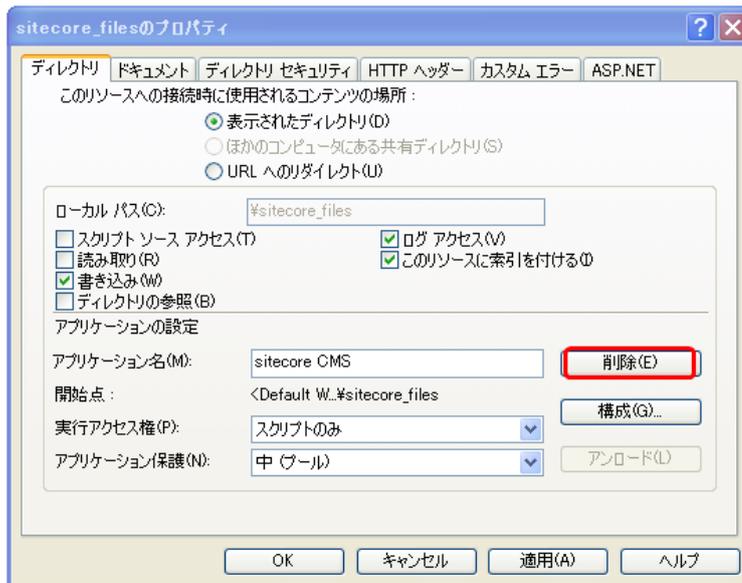
3. [プロパティ] ダイアログで [構成] をクリックします。[アプリケーションの構成] ダイアログが表示されます。



アスタリスク (“*”) 拡張子への拡張子のマッピングを作成します。[実行ファイル] フィールドで前の手順のステップ 4 でコピーした値を貼り付けます。[すべての動詞] を選択し、[ファイルの存在を確認する] のチェック ボックスをオフにします。



4. [プロパティ] ダイアログで削除をクリックし、[OK] をクリックします。[プロパティ] ダイアログが最新の状態に更新されアプリケーションを作成できることが示されます。

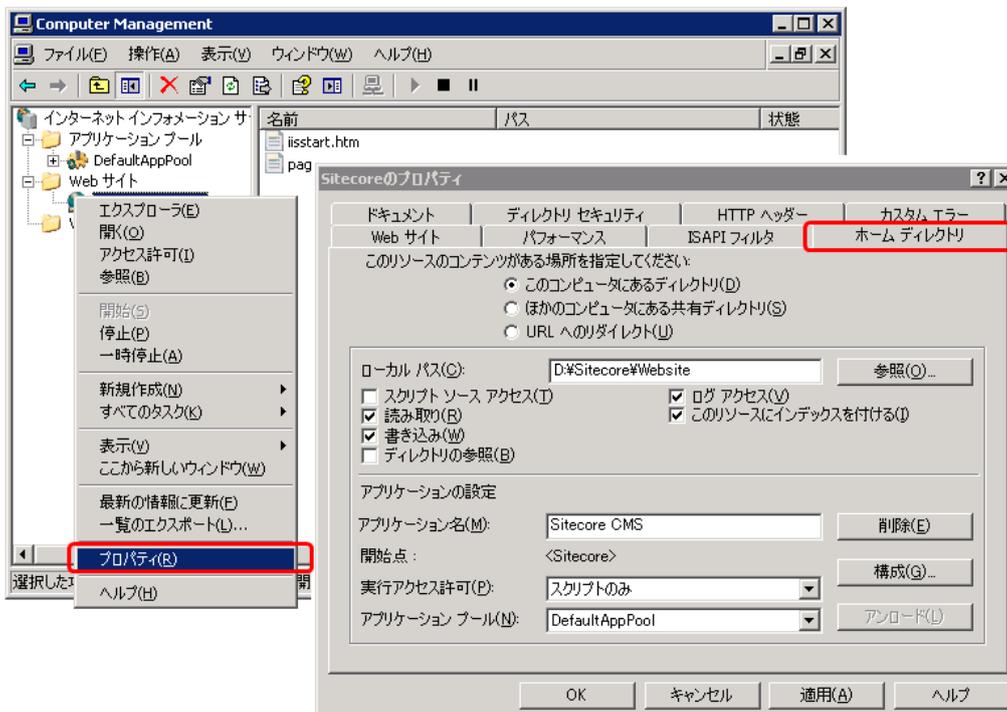


IIS6 (Windows 2003)

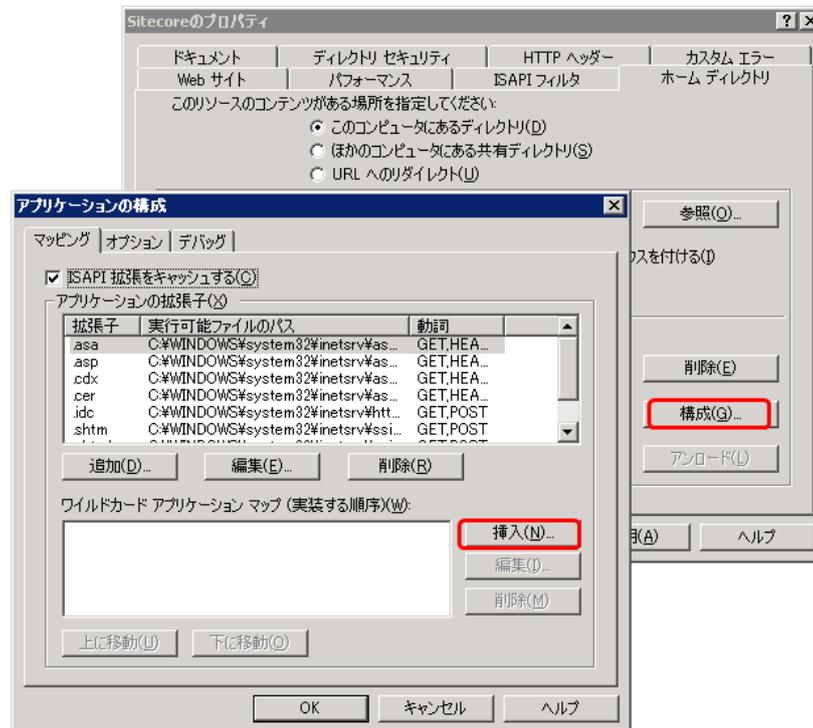
IIS6 の Web サイトを構成して Sitecore の WebDAV 機能をサポートするには、Web サイトを構成し、次にその Web サイトの WebDAV サブディレクトリを下記の手順に従って構成します。WebDAV サブディレクトリに関するさらに詳細な情報は「WebDAV.Folder 設定」セクションを参照してください。

IIS6 の Web サイトのドキュメント ルートを構成して Sitecore の WebDAV 機能をサポートする手順:

1. IIS 管理コンソールで Web サイトを右クリックし、**[プロパティ]** をクリックします。**[プロパティ]** ダイアログが表示されます

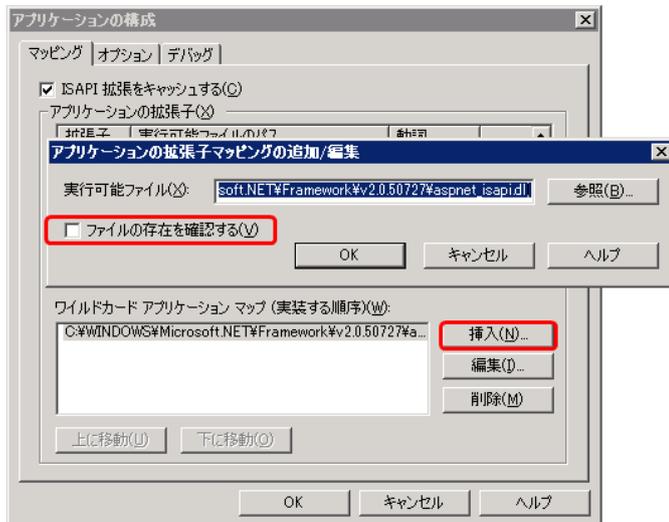


2. [プロパティ] ダイアログで [ホーム ディレクトリ] タブをクリックし、[構成] をクリックします。[アプリケーションの構成] ダイアログが表示されます。



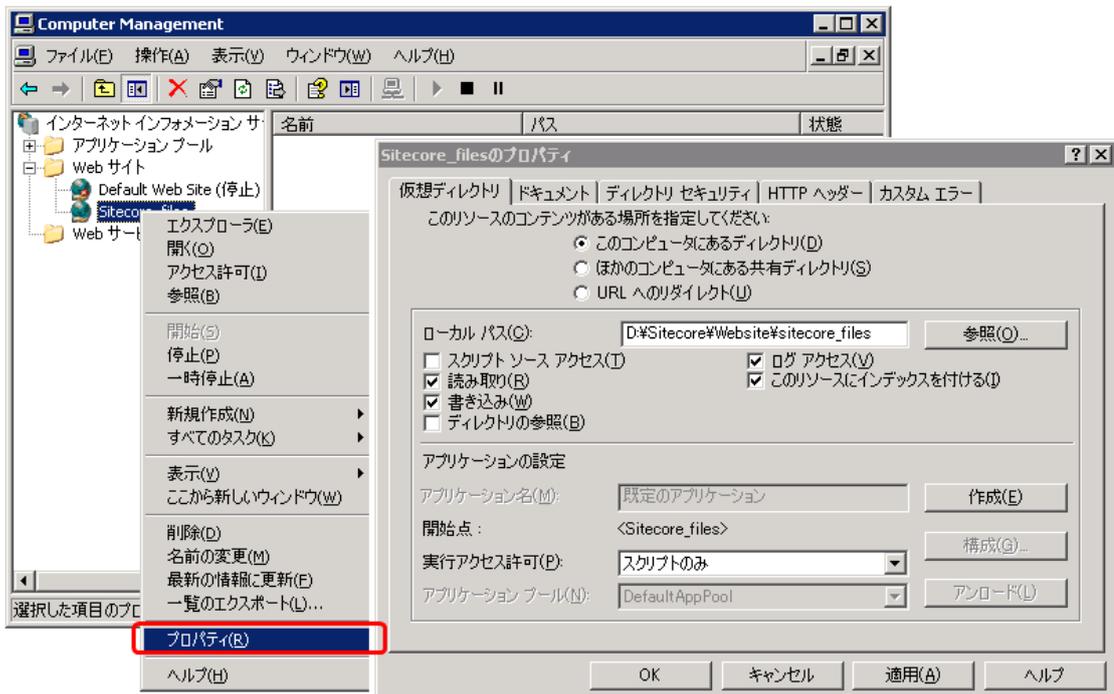
3. [アプリケーションの構成] ダイアログで .aspx 拡張子を選択し、[編集] をクリックします。[アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログが表示されます。
4. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで [実行ファイル] の値を Windows のクリップボードにコピーし、[OK] をクリックします。
5. [アプリケーションの構成] ダイアログで [挿入] をクリックします。[アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログが表示されます。
6. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで [実行ファイル] に Windows クリップボードから値を貼り付けます。
7. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで [拡張子] にアスタリスク ("*") を入力し、[制限] を選択し、PROPFIND, OPTIONS と入力します。

8. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで [ファイルの存在を確認する] のチェックボックスをオフにし、[OK] をクリックします。

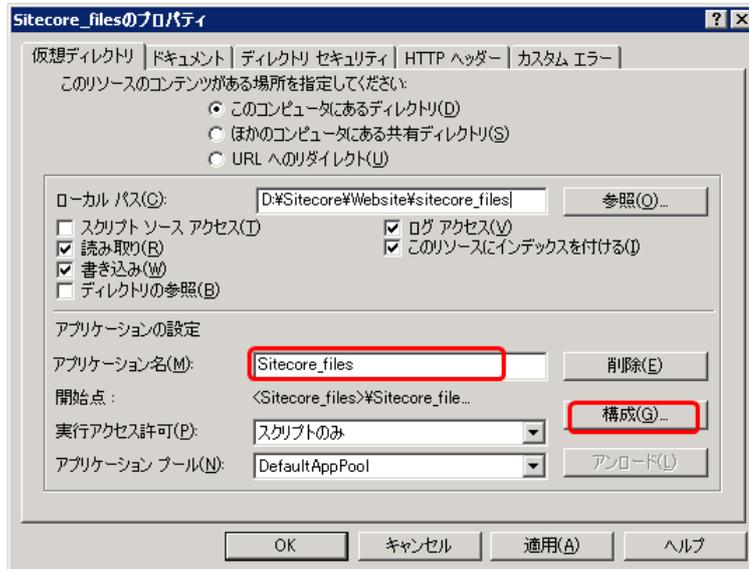


IIS6 の Web サイトの WebDAV サブディレクトリを構成し、Sitecore の WebDAV 機能をサポートする手順:

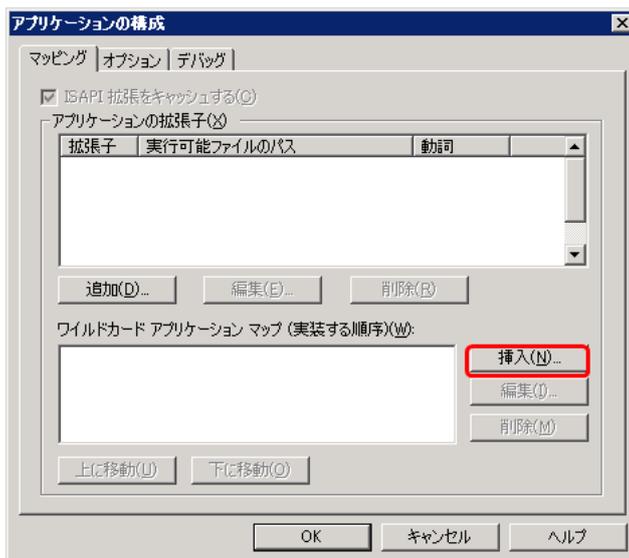
1. IIS 管理コンソールで Web サイトを展開し、/sitecore_files サブディレクトリを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[プロパティ] ダイアログが表示されます。



2. [プロパティ] ダイアログで [仮想ディレクトリ] タブをクリックし、[作成] をクリックします。[プロパティ] ダイアログが最新の状態に更新され、新しいアプリケーションが表示されます。

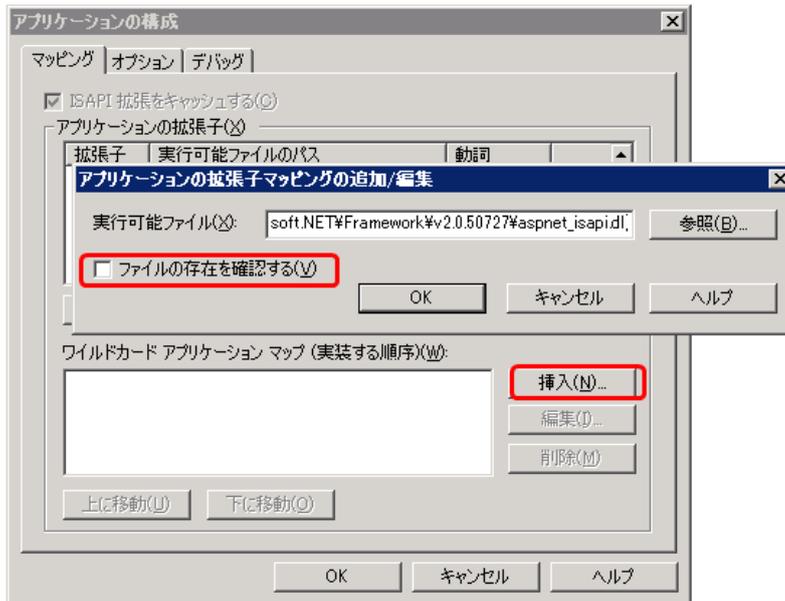


3. [プロパティ] ダイアログで構成をクリックします。[アプリケーションの構成] ダイアログが表示されます。

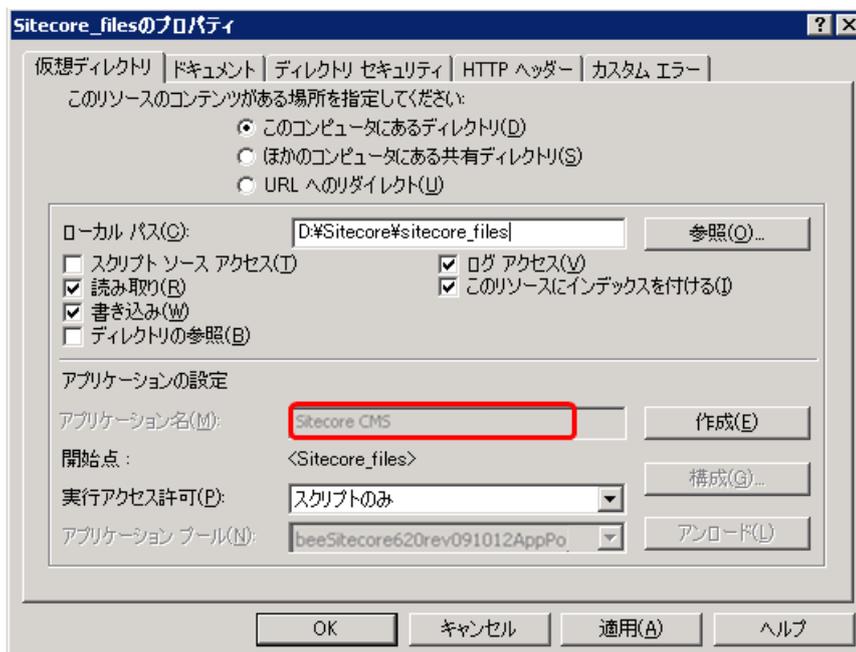


4. [アプリケーションの構成] ダイアログで [挿入] をクリックします。[アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログが表示されます。
5. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログの [実行可能ファイル] フィールドに前の手順のステップ 4 でコピーした値を貼り付けます。

6. [アプリケーションの拡張子マッピングの追加/編集] ダイアログで [ファイルの存在を確認する] のチェック ボックスをオフにし、[OK] をクリックします。



7. [プロパティ] ダイアログで [削除] をクリックし、[OK] をクリックします。[プロパティ] ダイアログが最新の状態に更新されアプリケーションを作成できることが示されます。



IIS7 (Windows Vista、Windows 2008、Windows 7)

IIS7 を使用している場合には WebDAV をサポートするために IIS を構成する必要はありません。

3.2 WebDAV 構成設定

このセクションでは Sitecore の WebDAV 機能を制御する

`/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` ファイルの構造を説明します。

さらに詳細な情報は `/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` ファイルの中の各設定の上のコメントを参照してください。

3.2.1 WebDAV.AssociateUsernameWithLink 設定

`WebDAV.AssociateUsernameWithLink` 設定は Sitecore がユーザーに関する情報を WebDAV オプション オブジェクトに保存するかどうかを制御します。WebDAV オプション オブジェクトに関するさらに詳細な情報は「WebDAV オプションオブジェクト」セクションを参照してください。WebDAV 認証に関するさらに詳細な情報は「WebDAV 認証を構成する」セクションを参照してください。

注意

セキュアかどうか不明なネットワークでは `WebDAV.AssociateUsernameWithLink` 設定を `true` に設定しないでください。

重要

Windows 7 の Microsoft Internet Explorer を使っている CMS ユーザーをサポートするためには `WebDAV.AssociateUsernameWithLink` を `false` に設定しないでください。

メモ

`WebDAV.AssociateUsernameWithLink` 設定の値が `default` の場合には、Sitecore はユーザーに関する情報を、Windows 7 の Microsoft Internet Explorer など特定の Web クライアントが必要な場合に、WebDAV オプション オブジェクトに保存します。

ヒント

セキュアなネットワークでは `WebDAV.AssociateUsernameWithLink` 設定を `true` に設定することで WebDAV 認証プロンプトの頻度を減少させることができます。

3.2.2 WebDAV.Enabled 設定

`WebDAV.Enabled` 設定は Sitecore が WebDAV 機能を有効にするかどうかを制御します。

`WebDAV.Enabled` が `false` の場合には Sitecore のユーザー インターフェースに WebDAV 機能は表示されず、Sitecore は WebDAV リクエストを処理するために WebDAV エンジンを使用しません。WebDAV エンジンに関するさらに詳細な情報は「IT Hit WebDAV エンジン」セクションを参照してください。

メモ

`WebDAV.Enabled` が `false` の場合にはファイル ドロップ エリア (FDA) データテンプレート フィールドは WebDAV を使用しない代替インターフェースを表示します。FDA フィールドに関するさらに詳細な情報は「WebDAV FDA データテンプレート フィールド タイプ」セクションを参照してください。

3.2.3 WebDAV.EngineLogLevel 設定

`WebDAV.EngineLogLevel` 設定は IT Hit WebDAV エンジンのログの詳細性を制御します。IT Hit WebDAV エンジンに関するさらに詳細な情報は「IT Hit WebDAV エンジン」セクションを参照してください。WebDAV ログに関するさらに詳細な情報は「WebDAV ログ」セクションを参照してください。

メモ

デフォルトの構成では IT Hit WebDAV エンジン ログは無効になっています。

3.2.4 WebDAV.FileDropAreaMediaLocation 設定

`WebDAV.FileDropAreaMediaLocation` 設定は Sitecore が WebDAV で管理するメディア アイテムを保存するデフォルトのメディア ライブラリの場所を指定します。Sitecore はこの場所以外のアイテムを含む WebDAV リクエストを受け付けません。`WebDAV.FileDropAreaMediaLocation` 設定を使ってメディア ライブラリの特定の場所のみ WebDAV サポートをするように構成することができます。

3.2.5 WebDAV.Folder 設定

`WebDAV.Folder` 設定は WebDAV リクエストを処理する IIS Web サイトのサブディレクトリを指定します。Sitecore は `WebDAV.Folder` 設定で指定されたディレクトリにファイルを作成しません。

注意

`WebDAV.Folder` 設定は `/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` ファイルの `/configuration/sitecore/sc.variable` 要素の `value` 属性と `name webDAVPrefix` を使います。これら 2 つの構成可能アイテムは常に同じ値に評価されなければなりません。

3.2.6 WebDAV.LicenseFile 設定

`WebDAV.LicenseFile` 設定は Sitecore が IT Hit WebDAV エンジンに使うライセンス ファイルの場所を指定します。IT Hit WebDAV エンジンに関するさらに詳細な情報は「IT Hit WebDAV エンジン」セクションを参照してください。

注意

Sitecore からの指示なく `WebDAV.LicenseFile` 設定を変更しないでください。

3.2.7 WebDAV.MediaHandlerName 設定

WebDAV.MediaHandlerName 設定は Sitecore が WebDAV リクエストにどのハンドラーを使うかを制御します。Sitecore は web.config の /configuration/system.web/httpHandlers/add 要素の type 属性で指定され、path 属性が WebDAV.MediaHandlerName 設定の値と合致したクラスを使って WebDAV リクエストを処理します。

3.2.8 WebDAV.PromptWhenUsernameUnknown 設定

WebDAV.PromptWhenUsernameUnknown 設定はコンテキスト ユーザーが不明な場合に Sitecore が WebDAV リクエストにどのように対応するかを制御します。WebDAV.PromptWhenUsernameUnknown 設定が true の場合には、Sitecore は認証のプロンプトを出します。WebDAV.PromptWhenUsernameUnknown 設定が false の場合には Sitecore はコンテキスト ドメインでの匿名ユーザーとして処理を行いません。

3.2.9 WebDAV.URLDisplayName 設定

WebDAV.URLDisplayName 設定は Sitecore が WebDAV URL パスで使うプレフィックスを制御し、WebDAV クライアントで現行のフォルダー名として表示されます。

3.3 WebDAV 構成要素

次のセクションでは /App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.Config ファイルの /configuration/sitecore/webdav 要素を説明します。これは認証、WebDAV ビュー、ロック管理、WebDAV オプション オブジェクトのストレージ、などの Sitecore の WebDAV 機能を制御します。

3.3.1 WebDAV 認証を構成する

/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config ファイルの /configuration/sitecore/webdav/authentication 要素は WebDAV の認証を制御します。 <authentication> 要素の type 属性は WebDAV リクエストの認証に使うクラスを指定します。

Sitecore は /App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config ファイルの /configuration/sitecore/webdav/authentication/authentications 要素の中の最初の <map> 要素で指定された認証方法を使用し、Web クライアントのユーザー エージェント文字列と合致した useragent 属性を使います。そのエントリが存在しない場合、Sitecore は /App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config ファイルの /configuration/sitecore/webdav/authentication/preferredAuthentication 要素で指定された認証方法を使います。

メモ

カスタマイズをしない場合には、各 useragent に合致するすべての Web クライアントで同じ認証方法を使用する必要があります。

WebDAV 認証方法

Sitecore には 2 種類の WebDAV 認証方法あります: 基本 (Basic) とダイジェスト (Digest) です。

注意

基本認証はユーザー名とパスワードをプレーン テキストで送信します。ダイジェストではさらにセキュリティが提供されますが、完全にセキュアではありません。セキュアかどうか不明なネットワークではカスタムの WebDAV 認証を実装することを検討してください。

メモ

WebDAV クライアントは Sitecore が使用している ASP.NET フォーム認証をサポートしないため、WebDAV は別の認証を必要とします。⁵

メモ

Windows Vista と Windows 2008 のデフォルト構成では基本認証はサポートされません。⁶

⁵ <http://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa480476.aspx>.

⁶ http://www.webdavsystem.com/server/documentation/authentication/basic_auth_vista.

メモ

デフォルトの Sitecore 構成ではすべてのユーザー エージェントにダイジェスト認証を使用します。

カスタムの WebDAV 認証プロバイダーを実装するためには下記の手順に従います:

1. `Sitecore.Security.Authentication.HttpAuthenticationProvider` クラスで抽象メソッドを実装します。
2. `web.config` の `/configuration/sitecore/httpAuthentication` セクションに自分のクラスを登録します。
3. `/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` ファイルの適宜な `/configuration/sitecore/webdav/authentication/authentications/map` 要素を作成、更新、または削除して自分のクラスをリファレンスするか、または `/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` ファイルの `<preferredAuthentication>` 要素のコンテンツを更新して自分のクラスを指定します。

3.3.2 WebDAV ビューを構成する

`/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` の `/configuration/sitecore/webdav/views` 要素は WebDAV ユーザーが使用可能なビューを制御します。`/configuration/sitecore/webdav/views` 要素の `defaultProvider` 属性はビューを選択していないユーザーのデフォルト ビューを指定します。

ビューを実装する手順:

1. `Sitecore.Data.Views.WebDAVView` ベース クラスから継承するクラスを作成します。
2. 新しいクラスでベース クラスのすべての抽象メソッドを実装します。`GetHierarchyItem()` メソッドでは適宜な WebDAV アイテムを返します。
3. `/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` ファイルの `/configuration/sitecore/webdav/views` 要素で新しいクラスを登録します。

3.3.3 WebDAV 追加ロックプロバイダーを構成する

WebDAV 処理は必要な場合に Sitecore のロックを行いません。たとえばユーザーがメディア アイテムを編集する場合などです。ある場合には、WebDAV を使って複数のユーザーが同時に 1 つのメディア アイテムに対して作業を行わないようにするため、Sitecore のアイテムのロックの状態には影響を及ぼすことなく、Sitecore はさらに追加のロック情報を保持する必要があります。

`/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` ファイルの `/configuration/sitecore/webdav/locking` 要素はこの WebDAV 追加ロックを実装するためのクラスを制御します。デフォルトの WebDAV 追加ロック プロバイダーは追加のロック情報を、`web.config` の最初の `/configuration/sitecore/IDTable/param` 要素で指定されたデータベースの `IDTable` テーブルに保存します。

メモ

デフォルトの Sitecore 構成ではマスター データベースの IDTable テーブルを使用します。

別のデータベースの IDTable テーブルを使用するには、web.config の最初の /configuration/sitecore/IDTable/param 要素の connectionStringName 属性をそのデータベース名に設定します。

3.3.4 WebDAV Null ロックプロバイダーを構成する

Sitecore は /App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config ファイルの /configuration/sitecore/webdav/lockNull 要素で指定されたクラスを使って WebDAV を使ってメディア アイテムが作成される前の情報を保存します。デフォルトの WebDAV Null ロック プロバイダーはロック情報をサーバーのインメモリに保存します。

3.3.5 WebDAV オプション ストアを構成する

/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config ファイルの /configuration/sitecore/webdav/optionStore 要素は Sitecore が WebDAV オプション オブジェクトを保持するために使うクラスを制御します。WebDAV オプション オブジェクトに関するさらに詳細な情報は「WebDAV オプションオブジェクト」セクションを参照してください。

デフォルトの WebDAV オプション オブジェクト ストア プロバイダーは web.config の最初の /configuration/sitecore/IDTable/param 要素で指定されたデータベースの IDTable テーブルを使用します。WebDAV URL の GUID はこのテーブルのエントリーに対応し、WebDAV オプション オブジェクトを WebDAV リクエストと関連付けています。

3.4 WebDAV パイプライン

各 WebDAV リクエストに対して Sitecore は `/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` ファイルで定義されたパイプラインを実行します。これらのパイプラインのプロセッサを追加、置換して WebDAV のアクションを制御することができます。

重要

パフォーマンスを最大化するため、各パイプラインとパイプライン プロセッサを十分に最適化してください。プロセッサの最初のアクションは、そのプロセッサのロジックが処理コンテキストに関連がない場合に抜け出ることです。

メモ

この文書ではパイプラインやパイプライン プロセッサの実装については説明しません。

3.4.1 autogenerateVersions パイプライン

Sitecore は `autogenerateVersions` パイプラインを実行して WebDAV 処理のためにいつ新しいバージョンのメディア アイテムを作成するかを決定します。

3.4.2 getProperties パイプライン

Sitecore は `getProperties` パイプラインを実行して WebDAV カスタム プロパティを管理します。WebDAV カスタム プロパティに関するさらに詳細な情報は「WebDAV カスタムプロパティ」セクションを参照してください。

現行の `getProperties` パイプラインの実装はメディア アイテムの ID を含む `ItemID` という名前の単一プロパティを返します。カスタム WebDAV プロパティをサポートする WebDAV クライアントを使う場合は、`getProperties` パイプラインの機能を実装することができます。

3.4.3 requireAuthentication パイプライン

Sitecore は `requireAuthentication` パイプラインを実行して WebDAV ユーザーに認証プロンプトを出すかどうかを決定します。認証情報が得られない場合には、「WebDAV.PromptWhenUsernameUnknown 設定」セクションで説明したように、WebDAV リクエスト ハンドラーは `WebDAV.PromptWhenUsernameUnknown` 設定を適用し、認証を要求するか、コンテキスト ドメインでの匿名ユーザーとして処理を実行します。認証に関するさらに詳細な情報は「WebDAV 認証を構成する」セクションを参照してください。

3.4.4 resolveDatabase パイプライン

Sitecore は `resolveDatabase` パイプラインを実行して各 WebDAV リクエストでアクセスするデータベースを決定します。

3.4.5 resolveMode パイプライン

Sitecore は `resolveMode` パイプラインを実行して WebDAV リクエストを読み取り専用モードか読み書き可能モードで処理するかを決定します。WebDAV モードに関するさらに詳細な情報は「WebDAV のモード」セクションを参照してください。

3.4.6 resolveRootItem パイプライン

Sitecore は `resolveRootItem` パイプラインを実行して WebDAV リクエストのメディア ライブラリのルート アイテムを決定します。WebDAV リクエスト ハンドラーはメディア ライブラリのルート アイテムの子孫のメディア アイテムのみを処理します。`resolveRootItem` パイプラインを操作して、別の条件の場合には別のメディア ライブラリ ルート アイテムを使うこともできます。

3.4.7 resolveSite パイプライン

Sitecore は `resolveSite` パイプラインを実行して WebDAV リクエストのコンテキスト論理 Web サイトを決定します。Sitecore はコンテキスト サイトを URL の GUID に関連付けられた WebDAV オプション オブジェクトから、またはコンテキスト Web サイトから決定します。WebDAV オプション オブジェクトに関するさらに詳細な情報は「WebDAV オプションオブジェクト」セクションを参照してください。

3.4.8 resolveUser パイプライン

Sitecore は `resolveUser` パイプラインを実行して WebDAV リクエストのコンテキスト ユーザーを決定します。WebDAV ユーザーに関するさらに詳細な情報は「requireAuthentication パイプライン」セクションと「WebDAV 認証を構成する」セクションを参照してください。

3.4.9 resolveView パイプライン

Sitecore は `resolveView` パイプラインを実行して WebDAV ビューを決定します。Sitecore は次の選択肢の中から最初に定義されたビューを使用します:

- リクエストに関連付けられた WebDAV オプション オブジェクト
- アプリケーション オプション ダイアログでユーザーが選択したビュー (コンテンツ エディターで Sitecore ロゴをクリックしてアクセスできます)
- `/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config` ファイルで指定されたデフォルト ビュー

デフォルトの WebDAV ビューの指定方法を含め、WebDAV ビューに関するさらに詳細な情報は「WebDAV のビュー」セクションと「WebDAV ビューを構成する」セクションを参照してください。

3.4.10 updateProperties パイプライン

Sitecore は `updateProperties` パイプラインを実行して WebDAV カスタム プロパティを管理します。WebDAV カスタム プロパティに関するさらに詳細な情報は「WebDAV カスタムプロパティ」セクションを参照してください。

`updateProperties` パイプラインの現行の実装はアクションを何も行いません。WebDAV カスタム プロパティをサポートする WebDAV クライアントを使う場合には `updateProperties` パイプラインの機能を実装することができます。

3.4.11 validateOperation パイプライン

Sitecore は `validateOperation` パイプラインを実行して、アイテムのアクセス権が WebDAV 処理を許可する場合でもユーザーがその WebDAV 処理を行う認証を持っているかどうかを決定します。

たとえばこのパイプラインのプロセッサを構成して、WebDAV ユーザーがメディア アイテムをアクセス権では削除可能な場合でも削除しないようにすることができます。

Chapter 4

既知の問題とトラブルシューティング

この章では Sitecore の WebDAV の実装の既知の問題を説明し、次のトラブルシューティングの技法を説明します。

この章には次のセクションがあります:

- 既知の問題
- WebDAV のトラブルシューティング

4.1 既知の問題

Sitecore の WebDAV の実装に関する制限事項と既知の問題を下記に記します:

- Sitecore は Windows Web Folder クライアントまたは Windows Desktop Experience の更新されたインストールを伴う Microsoft Internet Explorer WebDAV クライアントをサポートします。WebDAV クライアントとしての Internet Explorer は WebDAV カスタム プロパティとその他いくつかの WebDAV 機能をサポートしません。サポートされるバージョンと、Internet Explorer と Windows Web Folders または Desktop Experience の構成に関するさらに詳細な情報は「WebDAV クライアントの構成」セクションを参照してください。
- 同じ親アイテムの下で同じ名前の 2 つのアイテムで WebDAV を使うことはできません。同じ親アイテムの下で同じ名前のメディア フォルダーとメディア アイテムで WebDAV を使うことはできません。web.config の `Media.IncludeExtensionsInItemNames` 設定が `true` である場合を除き、同じ親アイテムの下で同じ名前異なる拡張子で 2 つのメディア アイテムで WebDAV を使うことはできません。
- WebDAV を使ってメディア アイテムのファイル名の拡張子を変更することはできません。
- WebDAV を使って Unicode 文字を含んだ名前のメディア アイテムを作成することはできません。
- 認証の際にはドメイン名を入力 (`domain\username`) してください。
- WebDAV クライアントのユーザー インターフェースに表示されるオプションを制御することはできません。ユーザーがユーザー インターフェースを使ってコマンドを実行した後で WebDAV 処理を止めることはできません。
- WebDAV は web.config の `/configuration/system.web/authentication` 要素の `mode` 属性に `None` の値を必要とします。
- クライアント OS が表示するメッセージのテキストを制御することはできません。
- WebDAV のシンプル ビューで、メディア アイテムにデフォルト言語でバージョン データがない場合、そのメディア アイテムの拡張子はユーザー インターフェースで表示されません。WebDAV が認証を要求しない場合、そのアイテムにシンプル ビューでバージョン データを追加することはできません。バージョン データは詳細ビューを使って追加することができます。WebDAV ビューに関するさらに詳細な情報は「WebDAV のビュー」セクションを参照してください。
- WebDAV はデフォルト (443) 以外のポートを使う HTTPS をサポートしません。
- Microsoft Internet Explorer 8 は HTTPS を使った WebDAV をサポートしません。
- Sitecore に認証されていない Web クライアントから WebDAV 機能を使うことはできません。
- Microsoft Internet Explorer 8 はホスト名 `localhost` にアクセスしている時は WebDAV をサポートしません。この問題に関するさらに詳細な情報は「Cannot Find」セクションを参照してください。

メモ

Sitecore のユーザー インターフェースは WebDAV 機能をサポートしない Web クライアントにはその機能を表示しません。

メモ

WebDAV クライアントのユーザー インターフェイスが操作の後に自動的に更新されない場合にはブラウザウィンドウで右クリックし最新の状態に更新をクリックしてください。

4.2 WebDAV のトラブルシューティング

このセクションでは WebDAV の問題のトラブルシューティングに関する技法を説明します。

4.2.1 WebDAV ログ

WebDAV ログの診断メッセージを使って WebDAV の問題に関する情報を入手できます。

Sitecore は WebDAV に関するメッセージを次のファイルにログを取ります。

web.config の \$dataFolder 変数で指定したディレクトリの /logs サブディレクトリの WebDAV.log.{date}.txt ファイル ({date} はシステム日付)

メモ

web.config の /configuration/log4net/appender 要素を name WebDAVLogFileAppender で更新して、Sitecore WebDAV ログを構成することができます。log4net⁷ で認識される値の一つを含む <level> 要素を追加することができます。

```
<logger name="Sitecore.Diagnostics.WebDAV" additivity="false">
  <level value="INFO"/>
  ...
</logger>
```

IT Hit WebDAV エンジンでは web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name DataFolder で value 属性で指定されたディレクトリの WebDAVLog.txt というファイルにログを取ります。

4.2.2 WebDAV クライアントの構成

Web クライアントが Sitecore のシステム要件を満たし、Sitecore の構成要件⁸ を実装していることを確認してください。Windows Web Folders クライアントを含む Windows の更新をインストールしてください。

4.2.3 Running a System Command on this Item Might Be Unsafe

ブラウザで下記のメッセージが表示された場合にはクライアントを構成する必要があります。

Running a system command on this item might be unsafe.

⁷ log4net に関するさらに詳細な情報は

<http://logging.apache.org/log4net/release/manual/configuration.html> を参照してください。

⁸ Sitecore のクライアントの要件について、サポートされる Web クライアントとバージョンを含め、さらに詳細な情報は、『Sitecore CMS インストールガイド』

<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese.aspx> を参照してください。IE の

WebDAV サポートの構成の方法については『Internet Explorer 構成リファレンス』

<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/IE%20Configuration%20Reference.aspx> を参照してください。

Do you wish to continue?

[Yes] をクリックし、クライアントを構成するには「WebDAV クライアントの構成」セクションを参照してください。

4.2.4 Internet Explorer Could Not Open

ブラウザで下記のメッセージが表示された場合には、IT Hit WebDAV エンジンと競合している可能性のある IIS WebDAV コンポーネントを削除し、IT Hit WebDAV エンジンに使用されているライセンスファイルに ASP.NET がアクセスできることを確認します。IT Hit WebDAV エンジンに関するさらに詳細な情報は「IT Hit WebDAV エンジン」セクションを参照してください。

Open Folder

Internet Explorer could not open <URL> as a Web Folder

Would you like to see its default view instead

上記のようなメッセージとあわせて WebDAV ログで下記のようなメッセージがあった場合には ASP.NET が IT Hit WebDAV エンジンに使用されているライセンス ファイルにアクセスできていない場合があります。WebDAV ログに関するさらに詳細な情報は「WebDAV ログ」セクションを参照してください。

System.IO.FileNotFoundException

Could not find file

/App_Config/Include/Sitecore.WebDAV.config ファイルの WebDAV.LicenseFile 設定で指定されたファイルが存在し、ASP.NET がこのファイルを読むことができることを確認してください。WebDAV ライセンス ファイルに関するさらに詳細な情報は「WebDAV.LicenseFile 設定」セクションを参照してください。

4.2.5 Cannot Find

ブラウザで下記のメッセージが表示された場合には、Sitecore のインスタンスに localhost 以外のホスト名を使ってアクセスしてください。

Cannot find <URL>

Make sure the path or Internet address is correct.

Microsoft Internet Explorer 8 はホスト名 localhost にアクセスする時には WebDAV をサポートしません。127.0.0.1 などの IP アドレスを使うか、または別のホスト名を使って IIS Web サイトを構成してください。